

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 137

2020/02/17/Mon

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

1・2学年保護者会 卒業式まで21日

医学者シーボルト誕生 1796年

作家・詩人、島崎藤村誕生 1872年

東京帝国大学、女子の入学を許可 1920年

長野県五輪ジャンプ団体金メダル1998年

1・2年生「学年末テスト」が終わる！

今年度最後の定期テスト(学年末テスト)が終わる！

残すは3年生は県立高一般選抜、1・2年生は実力テスト！

1・2学年末テスト…2/13(木)・14(金)の2日間で実施さ

れた今年度最後の定期テストである学年末テスト。今年は現在まで爆発的なインフルエンザの流行はなく、13日(木)は罹患者0名でテスト初日を迎えられました。3年生は先月で定期テストはすべて終わっており、私立高校入試、栃木県立高校特色選抜も終わり、あとは県立高校一般選抜を残すのみとなっています。



テストを受ける1年生の表情や姿からは、大きな成長の跡が見て取れます。1学期の中間テストの頃と比べて、そのテストに向かう真剣度も増し、身体だけでなく心も成長したことをつくづく感じました。

栃木県立高校一般選抜当日の3/5(木)には、1・2年生の実力テストが計画されています。成長の跡がテストの結果として表れてくることを期待しています。

3/9(月)の「卒業式」へ向けて着々と準備が進む！

合唱練習…先週から「卒業式」へ向けて、全校合唱となる式歌と校歌の練習が始まりました。

この時期に式歌である「旅立ちの日に」を聴くと、卒業式の季節がやってきたことを実感します。

本校の合唱は毎年レベルが高く、式の雰囲気盛り上げ、感動を呼ぶ合唱になっています。練習初日から、全生徒が真剣な表情で合唱に臨んでいる姿がとても印象的で、今年も素晴らしい合唱を披露してくれるだろうと予感される歌声でした。



卒業式に関する諸々の準備や練習は、3年生が学年としても徐々に始めています。先日は、私も「卒業文集」に掲載される原稿を仕上げたばかりです。



これから入試を迎える3年生はたくさんいますが、義務教育最後の授業である卒業式へ向けての準備も着々と進めている3年生…受験勉強にも追われる時期で、本当に忙しいと思います。

がんばれ3年生！！

みんなで考えよう！ 何のために勉強をするのか？ … ③

今回は、ある本に掲載された内容を紹介しします。以前にも紹介したことがあるお二人の意見(考え)です。一緒に考えてみましょう。



中学生と人生のベテランの方の意見から

何のために勉強をするのか？

もうすぐ受験をしなくてはならない時期に来ました。でも自分自身は今、何のために勉強をしなくてはいいか迷っています。大人たちは多分「有名な学校へ行かなくては会社が雇ってくれないし、将来、職業を選ぶのにも苦労するから」と答えると思います。実際にうちの親も、このようなことをうるさく言っています。周りの人は、ほとんど塾へ行っています。

しかし、塾へ行けば頭がよくなるとは限りません。一度、子どもに聞いてください。「塾は楽しいか？」と。ほとんどの人は楽しいというはずですが、いや、言わなくてはいいない立場に追い込まれているのです。もし楽しくない、面白くないと言ったら、親に怒られると思うからです。親は自分の子どもが塾に行っているから安心だと思っているのでしょう。親も自分の子どものことを考えてやってください。そして子どもに「勉強とは何？」と聞いてみてください。多分、分からないと返ってくるか、いい学校へ行くためと言うでしょう。勉強の意味が分からない。何のために勉強するのかも分からない。昔のことを思い出してみてください。こんなものではなかったはずですが。

いつのまにか学歴社会になって、能力の低い人は捨てられるのです。

今の子どもには夢がないと言われます。考えてみれば当然です。堅苦しい何かに身を奪われているのです。まるでロボットと同じです。何もかも当然のことをやらなくてはいいけません。自由を制限しているのです。今、こう何だか、ぱっとしない感覚がもやもやとあります。このもやもや、いつか答えが分かるのでしょうか。

横浜市 14歳 中学3年 「みんなで生き方を考える」(日本標準)より

勉強を一切やめると…

「何のために勉強をするのか」の14歳のO君へ。これは、人生問題と同じように、なかなか解答の出しにくいものです。かくいう私のような者が60歳を過ぎ、塾経営に没頭して、やっと分かったぐらいのものですから。

しかし、私の得た解答は実に簡単なものです。それは「勉強を一切やめてみたら、どうなるか」ということで説明されます。試みに、生まれてきた赤ん坊に食べ物や育児の世話は焼くが、一切、学習の体験をさせないように一室に閉じこめておくとする。もちろん、会話も付近ではしない、聞かせない。15年経ったら、その子どもは大きくなりますが、何も知らない人間になるでしょう。

つまり、嫌々ながらも外界から刺激を与えられるから脳細胞が反応し、成長し、知識が蓄積され、人間らしい判断力と意志決定力のある人になれるのです。誰だって自由がいい、束縛されない方がいい、好きなことだけやればいい。しかし、その結果、文字の書けぬ人になったら、情報の理解できぬ人になったら、賢明に世渡りできる人のそばでウロウロするだけの人間になったら…君は嫌でしょう。

そうです。誰でも何かを得るためには犠牲を払わねばなりません。勝利を得たかったら、訓練に耐えねばなりません(私は精神論を言っているのではありませんよ。脳細胞も筋肉も若い時の訓練によってのみ発達するのです)。

悩むことはいいことだ。大いに真剣に悩みなさい。しかし、行動することも大切ですよ。

横浜市 65歳 講師 「みんなで生き方を考える」(日本標準)より